

江渡あきのりさん
特集号

自由民主

LIBERAL & DEMOCRATIC



発行所
自由民主党本部
郵便番号100-8109
東京都千代田区永田町1-1-23
電話 東京 03(3581)6211(代表)
振替口座 東京000180-4-19518
定価 1部105円(税込)
(毎週火曜日発行)

自由民主党ホームページ URL <http://www.jimin.jp/>



語る 江渡あきのりさん

自由民主党青森県第二選挙区支部長・衆議院議員・前防衛副大臣

去る九月二十一日に、新たに選出された麻生大郎新総裁のもと、「国民のための政治」再構築を
目指して、新たな一歩を踏み出す自由民主党。
世界経済を揺るがす金融危機、原油の高騰、諸物価の値上がり等、国民の暮らしが大きく脅かされ
れている状況の昨今、内閣府政務官、防衛副大臣として、常に国民と政治を結ぶ最前線の現場で取
り組んできた江渡あきのりさんに、日本、そして郷土の活力復活のキーポイントを聞いてみた。

青森の元気を日本の元気へ!!

郷土の未来を現実に。

麻生新体制で自由民主党も新たな一歩を踏み出すことになりました。江渡さん自身、どんな思いで了吗か。

「私自身、麻生新総裁からもうろうとご指導いただき、また前回より総裁立候補者・推薦人の一人として、常に現場に身を置きながら取り組んできました。そこで選んだきたことは、「国民の皆様からの信頼なくして政治は成り立たない」ということとです。

選挙だけにこだわらず大事な法案の審議を拒否したり、政策も何もかも投げ捨てて他党の取り込みを狙ったり、話題作りのために「党首が故郷の選挙区を捨てる」とや幹部が発言するなど、許されないことです。

ただ、今その自民党にも反省すべき点はあります。おしかり声を真摯に受け止め、元気で活あるニッポンを取り戻す方策を示すことで、「信頼」の回復をいだけるよう積極的に皆様の輪の中に入って、いきたいと思えます。

世界的な金融危機、原油の高騰など、国民の多くが日本の先行きに不安を持っています。活力を取り戻すためにも何が必要でしょうか。

その答えは「この青森県が元気になること」です。話が違いますが、さかでもありませんが、これは肝心なことなんです。

2001年以降、米国や中国向けの輸出が増え、これが日本の経済成長に大きく寄与してきました。好景氣にもなく大都市圏に対し、地方はその実感も無く長引く不況に喘いできました。そこに、今の原油高や物価高です。今までに無い深刻な打撃を受けておりまし。

これに対してしかるべき手を打たなければ、日本の景氣は上向くどころか、明日もありませぬ。国民の大部分は地方で暮

らしているんです。できる限り迅速に、適正に、積極的な財政出動を図り、地方そして農林漁業、中小・零細企業を支え、元気にしていただくことが重要です。

つまり、青森の経済、皆様の暮らしが元氣にならなければニッポンの元氣があり得ないということです。

政府与党による緊急総合経済対策ですね。それには、民主党などから「バラマキ」という批判がありますが、「景氣対策」として、すべし「バラマキ」等々、ワンパターンの批判が出ます。そうした意見をおっしゃっている皆さんは、本当に、国民の暮らしと地方の現状を知っており、それでいいのでしょうか。今まさに地方の経済と暮らしは危機的な状況なのです。

こうした苦しい地方で、農林漁業、中小・零細企業をしっかりと支え、応援していくことがこそが政治の役目ではないでしょうか。

ただ、これは現状での話であって、中期的には、道州制を、都道府県の役割の見直しや省庁出先機関の統合などにより行政の無駄や特別会計のあり方を見直し、地方それぞれがオリジナリティを發揮して、魅力ある地域づくりを進めていくことが重要で



『自由民主』を定期購読しましょう。



▲農業者危機突撃委員会

「地域再生には、地域の基盤整備も欠かせないと思います。」
 もろろんで。地域内外の交流と連携を支える道路網の整備抜きには、地方は立ち立ちません。ところが昨年度末には、野党による政局の駆け引きによって、租税特別措置法改正案等の成立は大幅に遅れ、全国の地方自治体が大打撃を受けました。皆様の生活を政争の具にするという卑劣な野党のやり方には、心から憤りを感じています。
 今後、道路財源の問題は、一般財源化の中で議論されることとなりますが、暮らしに必要不可欠な生活道路はもたらぬこと、事業中の上北道路の整備、下北縦貫道路の国の直轄化、東北新幹線七戸駅(仮称)の事業促進を図り、私の地元でもあります青森県2区の皆様の声を訴えていきます。

「最近、食の安全を脅かすような事件、問題が立て続けに起っています。」
 中国製キョウサの殺虫剤混入問題、米や食料品の偽装問題など、国民の多くの人がついてくると不安を抱えています。その反面、日本の自給率は年々下がっています。2010年まで国内の食料消費は、国内生産でまかなえるのは約4割、残り6割は輸入に頼らざるを得ません。
 食の安全の確保を進めるためには内閣府、消費者庁の主導のもと、関係機関の管理、徹底した捜査協力強化を図るとともに、国内農林漁業の活性化を図ることが重要です。
 青森県は三村知事のもと、攻めの農林漁業を展開しています。食の安全が問われている、今の時代だからこそ、安全で品質の良い「ブランド」が求められているのです。
 そのため、産学官の連携をより強化し、品種改良や新たな加工品の開発を促進します。また、従来からの就農支援制度も拡充し、さらなる担い手の発掘に努めたいと思っております。

「最後に、なにかと問題の多い社会福祉や医療についてうかがいます。」
 まずは年金です。膨大な年金記録問題で、国民の皆様にご迷惑をおかけしたとこと、今度は年金改訂問題が発覚し、責任と覚悟として深くお詫言います。また、社会保険庁のさまざまな管理の実態にあきらかである社会保険庁の後継組織、2010年に発足する「日本年金機構」については、第三者機関による恒常的な監査を実施し、国民の安心と老後の安定のために至善を尽くします。
 医療面では、地方における医師、病因不足が深刻化しています。とくに産科医の不足は、非常に深刻な問題です。安心で子供を生み、育てる環境を創ることが何より少子化対策です。医療・介護に従事する人材不足を解消するためにも、医学部の増員、医師の一部業務を看護士などが代行する「コメディカル」の導入など、積極的に押し進めていきます。

えと 江渡あきのりさん

主な略歴

- 生年月日/昭和30年10月12日(53歳)
- 日本大学大学院法学研究科修了
- 光星学院八戸短期大学講師
- 社会福祉法人至誠会理事長
- 衆議院経済産業委員会理事
- 自民党国防部会・厚生労働部会副部会長
- 内閣府大臣政務官(2期)
- 防衛副大臣(2期)
- 自民党国会対策副委員長
- 衆議院運営委員会理事
- 衆議院議員(3期目)

えと 江渡あきのりさん 皆様へのお約束

- 1 地域再生と基盤整備**
●ふるさとを元気にします!!
- 2 年金改革**
●年金を元気にします!!
- 3 医療・福祉の充実**
●安心を元気にします!!
- 4 農林漁業の振興**
●「青森ブランド」を元気にします!!
- 5 国際貢献**
●日本の外交を元気にします!!



お気軽にお立ち寄り下さい。

自由民主党青森県 第2選挙区支部 TEL 0176-24-3844 FAX 0176-24-3845

〒034-0031 十和田市東三番町37-7

『自由民主』を定期購読しましょう。